

FRIENDLY

FRIENDLY REPORT

第58期 報告書

平成23年4月1日→平成24年3月31日



株式会社フレンドリー

証券コード：8209



「経営構造改革計画」の諸施策の
実行により改善した経費構造を
緩めることなく、早期黒字化を
目指します。

代表取締役社長

中井 豊人

当社は創立以来、関西を中心に、レストランチェーン「フレンドリー」をはじめとして数々の業態を展開し、多くのお客様に食の楽しみを提供してまいりました。家庭とは違う空間で、豊かな食文化を提供し、お客様の日々の暮らしをより豊かにする—それこそが当社の社会的使命だと考えております。これからも当社は、毎日お迎えする数多くのお客様の喜びの輪をさらに大きなものへと広げてまいります。

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

第58期(平成23年4月1日～平成24年3月31日)の営業のご報告をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

当期におけるわが国経済は、平成23年3月11日に発生いたしました東日本大震災による大幅な景気の落ち込みがあり、その後持ち直しの動きが見られましたが、欧州の債務危機等を背景とした海外景気の減速や急激な円高により、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。当外食業界におきましても、雇用・所得環境への不安感による消費者の節約志向に加え、放射能汚染による食の安全性への関心の高まり、外食企業間・中食業界との競争激化等により、取り巻く経営環境は極めて厳しい状況で推移いたしました。

このような環境のもと、当社におきましては黒字体質への転換を早期に果たすべく、平成22年10月に策定した「経営構造改革計画」を着実に実行してまいりました。「店舗数の拡大による規模の効果を求める経営から、利益率や各店舗ごとの採算性を重視する経営スタイルへの転換」「CS活動を軸にした企業風土の改革」を基本方針とし、具体的施策として、①業態ポートフォリオの見直し、②「香の川製麺」「ハッピーコング」の新業態の展開と実験、③オペレーションの改善、④CS活動への取組み、⑤不採算店舗の閉鎖、⑥人員の削減、⑦物流・工場のアウトソーシング化、に取組んでまいりました。また現在、経費削減施策(原価率改善、人件費率改善、販売促進費の効率的使用)に加え、新規顧客獲得やリピーター顧客数増加のための売上向上施策への取組みを実施しております。

店舗展開につきましては、「釜揚げ讃岐うどん 香の川製麺」の省コスト店1店舗(鴻池店)と一昨年8月に実験を開始した「ハッピーコング」を3店舗(いずれも「ファミリーレストラン フレンドリー」から業態転換)の合計4店舗を新規開店いたしました。また、本社移転に伴い、隣接の「フレンドリー」と「ボンズ」をそれぞれ閉店いたしましたので、当期末の総店舗数は前期末比1店舗減少し、98店舗となりました。「経営構造改革計画」の一環として平成23年6月に自社生産を中止し、物流と工場のアウトソーシング化を行いました。

業態別には、こだわりの本マグロが好評の「産直鮮魚と寿司・炉端 源ぺい」27店舗、「おいしい・たのしい・こちいい」をコンセプトとする洋食の「ファミリーレストラン フレンドリー」26店舗、「釜揚げ讃岐うどん 香の川製麺」17店舗、「日本の原風景“里山”」をコンセプトとする居酒屋「和

み料理と味わいの酒 土筆んぼう」12店舗、「和・洋・中の料理と団欒」をコンセプトとする「団欒れすとらん ボンズ」11店舗、「ハッピーコング」4店舗、「新・酒場 なじみ野」1店舗となっております。

商品政策につきましては、“健康・安全・おいしさ”の見地から食材を厳選し、お値打ちな商品の提供と同時にライブ感を味わっていただけるように努めました。食の安全・衛生管理につきましては、引続き「フレンドリー品質基準」の構築と衛生管理・検査体制を確立し、厳格に運用しております。

業績につきましては、主に来店客数が計画比未達であったこと、原価率と広告宣伝費が計画を上回ったことにより黒字化は果たせませんでした。しかし「経営構造改革計画」による諸施策が奏効し、損益面は前期比大幅に改善いたしました。売上高は、不採算店舗の閉鎖(前期第3四半期会計期間に15店舗閉鎖)に伴い減少いたしました。また、資産内容健全化の観点から減損損失を221百万円計上いたしました。

以上の結果、当期の売上高は10,043百万円(前期比930百万円減少)、営業損失は176百万円(同602百万円改善)、経常損失は151百万円(同625百万円改善)、当期純損失は325百万円(同1,751百万円改善)となりました。

株主・投資家の皆様におかれましては、より一層のご理解とご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

平成24年6月

代表取締役社長 中井 豊人

当社は、西欧料理主体の「ファミリーレストラン フレンドリー」・「ハッピーコング」、和食主体の「産直鮮魚と寿司・炉端 源 べい」・「団欒れすとらん ボンズ」、都市型居酒屋の「和み料理と味わいの酒土筆んぼう」、新・酒場「なじみ野」、セルフうどん店の「釜揚げ讃岐うどん 香の川製麺」の7業態を展開しております。

今後とも、お客様満足度向上のため、品質・価格・サービス等あらゆる面から改善・向上に取り組んでまいります。



「おいしい」「たのしい」「ここちいい」をテーマに地域に根ざしたカジュアルなファミリーレストランです。お客様の健やかな生活を考えて、バランスのとれたメニューと、こだわりの美味しさを取り揃えてお迎えしています。



26 店舗



「ハッピーコング」は、リーズナブルな価格で「豊富な品揃え」「おいしい」「楽しい」ステーキ・ハンバーグ専門店です。すべての鉄板料理でサラダバーが食べ放題となっております。



4 店舗



食を通じた団欒とふれあいの絆づくりをテーマにした和食レストラン。新鮮な旬の食材を旨味と持ち味に活かしたメニューには定評があります。



11 店舗



※店舗数は、平成24年6月末予定のものです。

有馬酒の
五ヶ所産 源へい

旬の魚と寿司・炉端のお店です。厳選された海鮮食材にこだわり、なかでもこだわりの本まぐろはご好評を
いただいております。

27 店舗



新・酒場
なじみ野
Kajiri

1 店舗

「安くて旨い」、「毎日通いたくなる居心地の良い」新時代の「酒場」として、家庭的な雰囲気の中でお手頃価格のお料理をご用意しております。



土筆 しゃぶしゃぶ
和み料理と味わいの酒
tsukushichu

日本の原風景「里山」をテーマにした都市型居酒屋です。どこか懐かしさを感じる店内で、和み料理と味わいの酒を楽しんでいただけます。

12 店舗



釜揚げ讃岐うどん
香の川製麺

うどん

17 店舗

厳選した素材とこだわりの製法で作り上げた風味豊かな自家製麺を、セルフスタイルでお楽しみいただける讃岐うどん専門店です。



貸借対照表

(単位：百万円)

	当期末	前期末
	平成24年3月31日現在	平成23年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	1,295	1,396
固定資産	4,880	5,478
有形固定資産	3,210	3,649
無形固定資産	32	44
投資その他の資産	1,638	1,784
資産合計	6,176	6,875
(負債の部)		
流動負債	2,926	2,811
固定負債	653	1,165
負債合計	3,579	3,977
(純資産の部)		
株主資本	3,590	3,825
資本金	3,975	3,975
資本剰余金	3,058	3,058
利益剰余金	△ 3,430	△ 3,196
自己株式	△ 11	△ 11
評価・換算差額等	△ 994	△ 927
その他有価証券評価差額金	5	3
土地再評価差額金	△ 999	△ 930
純資産合計	2,596	2,898
負債・純資産合計	6,176	6,875

損益計算書

(単位：百万円)

	当期	前期
	平成23年4月 1日から 平成24年3月31日まで	平成22年4月 1日から 平成23年3月31日まで
売上高	10,043	10,973
売上原価	3,121	3,488
売上総利益	6,921	7,484
販売費及び一般管理費	7,097	8,262
営業損失	176	778
営業外収益	168	158
営業外費用	143	156
経常損失	151	776
特別利益	26	50
特別損失	228	1,295
税引前当期純損失	353	2,021
法人税、住民税及び事業税	33	33
法人税等調整額	△ 61	22
当期純損失	325	2,076

キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当期	前期
	平成23年4月 1日から 平成24年3月31日まで	平成22年4月 1日から 平成23年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	136	△ 866
投資活動によるキャッシュ・フロー	75	△ 361
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 247	95
現金及び現金同等物の増加額又は減少額	△ 35	△ 1,131
現金及び現金同等物の期首残高	1,148	2,280
現金及び現金同等物の期末残高	1,112	1,148

期末配当についてのお知らせ

当期の期末配当につきましては、まことに遺憾ながら見送らせていただくことになりました。
何卒ご了承いただきますようお願い申し上げます。

新メニューの お知らせ

産直鮮魚と寿司・炉端 源пей『海鮮黄金時代突入』! ～おいしさにこだわった海鮮料理を刷新～

「源пей」では『海鮮黄金時代突入』と銘打ちまして4月～6月に主力の海鮮を使った料理を中心に30品以上の新メニューをラインナップいたしました。

4月に海鮮炉端と話題沸騰の塩麴のメニュー、5月に海鮮天ぷら・海鮮一品、6月には鮮度とボリュームにこだわった海鮮丼と寿司メニューを大幅にリニューアルし、魚好きのお客様に大好評をいただいております。

魔法の調味料と呼ばれている塩麴は、おいしさを引き出すだけではなく、老化防止、ダイエットなど美容効果もあるとも言われている天然調味料です。注目の塩麴を使い、旨味がぎゅっと詰まった焼き料理の数々をご提供しております。



新登場となる海鮮どんぶりは、北海道の食堂やデパートの北海道フェアなどの定番メニューを源пей自慢の新鮮な大ネタをたっぷりのせ、アレンジいた

しました。生うに、いくら、天然赤海老、ホタテなど9種類の海鮮がたっぷりの「海鮮丼」、新鮮ないくらが大盛りの「いくら丼」、"おいしい生うにをおなか一杯食べたい"というお客様の夢を実現した「うに丼」など大好評をいただいております。

また、ファミリー向けのたっぷり3人～4人向けのお得な大盛りメニューも多数をご用意しております。

今後も従業員一同、皆様のご来店を心よりお待ちしております。



会社の概要

(平成24年3月31日現在)

商号	株式会社 フレンドリー
英文商号	FRIENDLY CORPORATION
設立	昭和29年8月9日
資本金	3,975,062,600円
発行済株式総数	14,645,584株
従業員数	223名
本社	大阪府大東市寺川三丁目12番1号
主な事業内容	ファミリーレストラン事業

役員

(平成24年6月27日現在)

代表取締役会長	重里 育孝
代表取締役社長	中井 豊人
取締役上席執行役員	三好 秀文
取締役執行役員	和田 高明
常勤監査役	山藤 明
監査役	*大西 耕太郎
監査役	*渋谷 元宏

(注) ※印は、社外監査役であります。

株式の状況

発行可能株式総数・・・・・・・・・・・・・・・・ 61,800,000株

発行済株式総数・・・・・・・・・・・・・・・・ 14,645,584株
(うち自己株式25,961株)

株主数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4,894名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社さぎな	3,920	26.81
重里育孝	2,009	13.74
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	656	4.49
アサヒビール株式会社	500	3.42
株式会社りそな銀行	442	3.02
株式会社三菱東京UFJ銀行	255	1.74
みずほ信託銀行株式会社	249	1.70
東京海上日動火災保険株式会社	204	1.40
サントリーピア&スピリッツ株式会社	200	1.37
三菱食品株式会社	142	0.97

(注) 持株比率は、自己株式(25,961株)を控除して計算しております。

●所有者別分布状況



株主メモ

- 事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 6月
- 単元株式数 1,000株
- 剰余金の配当基準日 期末配当 3月31日
中間配当 9月30日
- 基準日 定時株主総会 3月31日
その他、必要あるときはあらかじめ公告して定めた日
- 株主名簿管理人および特別口座口座管理機関 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社
事務取扱場所 本店証券代行部
- 公告方法 電子公告
(<http://www.friendly-co.com/>)
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行う。
- お問合せ先 〒168-8507
(郵便物送付先) 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
みずほ信託銀行株式会社
証券代行部
(電話照会先) 電話 0120-288-324
- 特別口座に関する事務取次所 みずほインベスターズ証券株式会社
本店および全国各支店

決算公告に代えて、貸借対照表および損益計算書は、EDINET(金融商品取引法に基づく有価証券報告書の開示書類に関する電子開示システム)にて開示しております。